

平成28年業種別労働災害発生状況

(確 定)

小樽労働基準監督署

業種別	平成 28 年			平成 27 年			対 前 年		業種割合 (%)
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
全 産 業 合 計	6	197	203	2	180	182	21	11.5	100.0
製 造 業		69	69	1	49	50	19	38.0	34.1
食 料 品		44	44		27	27	17	63.0	21.7
木 材 ・ 家 具		6	6		3	3	3	100.0	3.0
紙 ・ 印 刷		1	1		4	4	-3	-75.0	0.5
窯 業 ・ 土 石		2	2				2		1.0
金 属 ・ 機 械		6	6	1	5	6			3.0
そ の 他		10	10		10	10			4.9
鉱 業									
土 石 採 取 業									
建 設 業	3	16	19		25	25	-6	-24.0	9.4
土 木 工 事 業	1	12	13		7	7	6	85.7	6.4
建 築 工 事 業	2	3	5		10	10	-5	-50.0	2.5
木 造 建 築 業		1	1		7	7	-6	-85.7	0.5
そ の 他					1	1	-1	-100.0	
交 通 運 輸 事 業		8	8		6	6	2	33.3	3.9
陸 上 貨 物 運 送 事 業	2	17	19	1	20	21	-2	-9.5	9.4
道 路 貨 物 運 送	2	15	17	1	20	21	-4	-19.0	8.4
陸 上 貨 物 取 扱		2	2				2		1.0
港 湾 運 送 業					1	1	-1	-100.0	
林 業		1	1				1		0.5
水 産 業		3	3				3		1.5
卸 売 業 ・ 小 売 業		27	27		18	18	9	50.0	13.3
清 掃 ・ と 畜 業		10	10		11	11	-1	-9.1	4.9
上 記 以 外 の 事 業	1	46	47		50	50	-3	-6.0	23.2

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)を集計したものであり、前年同期との対比になります。

時間外・休日労働時間が月100時間(2~6月平均80時間以上)を超えたら医師による面接指導を実施しましょう!

リスクアセスメントで災害・事故をなくそう!!

平成28年死亡労働災害発生概要

(確 定)

小樽労働基準監督署

No.	発生日	業 種	性別 経 験	災 害 発 生 状 況	事故の型 起 因 物
1	2月29日 (月)	17-2-1 警 備 業	男	被災者はビルの守衛業務を朝9時から24時間行う予定であった。 午前零時頃に仮眠をとり、朝5時頃に目覚めた被災者は、地下にある休憩室から1階のトイレに行き、その後、休憩室に戻る途中で階段を踏み外して踊り場に転落し、壁に頭を打ち付けたもの(推定)。 6時半に出勤してきた同僚が踊り場に倒れている被災者を発見し、救急車で病院に搬送したが5時間後に死亡したもの。	01 (墜落、転落) 413 (階段、棧橋)
2	8月31日 (水)	3-2-1 建築工事業	男	被災者は、桝組足場を先行して組み立てる作業に同僚8人とともに朝から従事していた。北面の足場から組立てて4段目の組立てを同僚と2人で行っていったところ足場が倒れたため、同僚とともに墜落した。直前の作業としては、足場の外側の面に筋交いを取り付ける作業を行っていた。被災者は頸椎損傷等により意識不明の重体であったが、9月10日に死亡したもの。なお、同僚は足の甲を骨折した。作業時には、保護帽及び安全帯を使用していた。	01 (墜落、転落) 411 (足 場)
3	10月2日 (日)	4-3-1 道路貨物 運送業	男	被災者は、中札内村の個人農場で大根をトレーラーに積み込み、小樽フェリーターミナルに向かってトラックを運転中、右カーブを曲がりきれずにガードロープを超えて約10メートル下の沢に転落したもの。被災者は、トラックの外で発見され、ドクターヘリで病院に運ばれたが死亡が確認されたもの。	17 (交通事故) 221 (トラック)
4	11月14日 (月)	3-2-9 その他の 建築工事業	男	被災者は、同僚4名とくさび型足場(5層)による一側足場の組立作業に従事していた。5層目の建地、手すり及び頭つなぎを設置するため、被災者が5層目に作業主任者が4層目、同僚が3層目、2層目及び地上にそれぞれ配置して組立作業を行っていたところ、足場コーナー部で手すりを設置していた被災者が足場上を斜めに横断していた送電線(6,600V)に触れ、感電により死亡したもの。	13 (感電) 351 (送配電線等)
5	12月23日 (金)	4-3-1 道路貨物 運送業	男	被災者は、会社敷地内の除雪作業を単独で行っていた同僚に合流し、排雪作業を手伝うことにした。1回目の排雪作業で高島漁港内をトラックで走行中、誤って海にトラックごと転落したもの。被災者は、漁港内を浮いているところを発見されたが、溺死していたもの。	17 (交通事故) 221 (トラック)

※脳・心臓疾患及び精神障害については、掲載していません。